

学会参加時の注意事項

1. 自分の研究に関連するセッションは、できるだけ長い時間（朝一から最後までが望ましい）参加しましょう。
2. その際、専門用語や、議題についていくよう努力しましょう。また、得た知識は（たとえ意味がわからなくても）ノートをとるか、予稿集に書き込みましょう。最初は何もわからないのが普通ですが、出席しているうちに、専門用語を含めて様々なことがわかってきます（わからないからと言って、出席しないとゼロのまま）。**学会は、「現在のホットな知識」を吸収するまたとない機会**です。参加のチャンスを与えられたら、積極的に出席し、知識の積み上げに努力しましょう。
3. 自分の発表がある場合は、そのセッション固有の専門用語の使い方や、問題意識、会場の雰囲気等があるので、前日から（日程上無理なら、当日の朝一から）そのセッションに参加するようにしましょう。
4. 自分の**発表後は、かならず休憩時間までその席にとどまり**ましょう。休憩中に質問に来る研究者がいる場合があります。そのような研究者は、強い関心を持ってくれるので、できるだけ誠実に（ただし、守秘義務に違反しないように）疑問点に答えるよう努力しましょう。また、発表者が知らない知識や視点を有している場合が多いので、（謙虚に）教えてもらうようにしましょう（その後の研究の発展につながります）。
5. 最初は会場で質問するのは勇気がいるかもしれませんが。また場合によっては、質問のタイミングを逸することもあるでしょう。そういうときは、休憩時間に質問に行きましょう。質問の際には、挨拶（自分の氏名や身分を名乗ること）を忘れないように。

2006年9月

早稲田大学理工学術院 竹内研究室